

市民ワークショップ第3回目の実施について

- 1 日時 令和5年5月14日（日）午後1時半から午後4時半まで
- 2 人数 36名（6人×6班）
- 3 内容

(1) 情報提供

- ①有識者会議の議論の流れ
- ②第3回目有識者会議の主要な論点
- ③有識者会議での委員意見の紹介（旧赤星鉄馬邸竣工当時の写真を見せながら）
- ④事例紹介（目黒区 駒場公園、杉並区 大田黒公園、横浜市瀬谷区 長屋門公園）

(2) グループワーク

- ①前回のワークショップで5つの視点をもとに出された「大切にしたいこと」「利活用イメージ」「仕組みや留意事項」を整理した一覧表に対して、修正や追加を行ったうえで、「利活用イメージ」のうち、今回掘り下げる利活用アイデアをシール投票し、意見交換を行った。※シールは「まずは自分たちで取り組めそう」、「旧赤星邸としてできたらいいな」の1人2枚。
- ②①のシール投票及び意見交換をもとに各班でさらに2つのチームに分かれて利活用アイデアを「利活用検討シート」にまとめた。（タイトル、ねらいを中心に）
- ③全体発表では、「利活用検討シート」を各班の参加者から発表。
- ④全ての班の「利活用検討シート」（各2枚×6班）に対して、1人3票でシール投票を行った。（シール投票は多数決で決めるのではなく考えの傾向を共有する目安とした）
→次回のグループワークで「利活用検討シート」作成のつづきを行い、社会実験につなげることを意識して、しくみや手法（実施体制）含めて深掘りする。

○利活用検討シート(第3回、第4回で作成)

ア)タイトル What	第3回で作成、発表した項目
イ)ねらい・目指すこと Why	
ウ)対象 whom	次回第4回で完成させる項目 ※第3回でも班ごとに記入できるところは作成した
エ)内容 how	
オ)場所 where	
カ)頻度 when	
キ)実施体制（関わる人や団体） who	
ク)実現に向けた留意点や試行・準備すべきこと	

4 出された意見と利活用検討シート（タイトル・狙い） ※タイトル横の（ ）内はシール投票数

班	1 班	
出された意見	<p>視点1:市民のための場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の活用、何もしない場、開かれた市民の場 ・活動内容を決めて始めるのではなくゆるやかに始める、いろいろな活動を試す場としてスタートし結果を見ながら場所を作っていく、余白を残す ・20代や30代までが集まれる場 <p>視点4:観光資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭で映画を見る催し ・市民が庭づくりに参加 <p>視点5:持続可能な利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続性を担保するには収益を得ることが大切、この場所でやるべきことは何か 	
	利活用検討シート	<p>①みんなのためのみんなのカフェ(6)</p> <p><u>ねらい・目指すこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築を見る人、自然に触れたい人、無目的など、いろんな人が集まれる ・目的を限定せずに市民が自分たちのできることをできる範囲で、関わりながら実現できる ・赤星邸をランドマークにして時を過ごせる

班	2 班	
出された意見	<p>視点1:市民のための場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かに過ごす、癒やされると同時に建物と庭を一体で楽しめる、気軽に訪ねられる ・ディベートする機会、いろいろな人が語り合う場 ・障害のある方が利用できる場所 ・こども食堂、地域の人が子どもを育てるような場所、親子のための駐輪スペースの整備 <p>視点2:歴史・文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レーモンド建築を集約する拠点 ・オーニングなど当初にあった屋外と室内をつないで食事を体験 <p>視点3:自然を守る・育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガーデンウェディングや記念撮影、収益を得る機会として貸し出す ・今のままで良い、木は切らないで欲しい <p>視点6:その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塀をどう取り扱うか、防犯上も見通しを確保、中の様子は見えるが領域がはっきりする工夫 	
	利活用検討シート	<p>①レーモンド建築資料館・レーモンド先生の本棚(4)</p> <p><u>ねらい・目指すこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アントニン・レーモンドが設計した建物に関する資料や情報を集め公開する ・他のレーモンド氏設計の建物（の管理者）との交流

班	3 班	
出された意見	視点 1:市民のための場 <ul style="list-style-type: none"> ・庭を眺めながら、お茶ができるような空間 ・施設見学後に休憩しつつお茶が飲めるように（1階をカフェ、2階を展示室など） 	
	視点 2:歴史・文化の継承 <ul style="list-style-type: none"> ・建物が貴重であるということ、登録有形文化財ということを知り、赤星邸の価値を発信 ・この建物でやる意味のあるもの、企画 	
利活用検討シート	視点 3:自然を守る・育てる <ul style="list-style-type: none"> ・近隣に馴染む文化財ならではのコンサート（クリスマスコンサートなど） 	
	視点 5:持続可能な利活用 <ul style="list-style-type: none"> ・若い層（大学生、20代）が自分たちで企画、話し合いができる場所 	
利活用検討シート	①探検！みんなの赤星邸！（7）	②赤星邸（建物・お庭）の未来への伝承（7）
	<u>ねらい・目指すこと</u> <ul style="list-style-type: none"> ・庭と建物を知ってもらい、楽しんでもらい、静かな時間を過ごしてもらい 	<u>ねらい・目指すこと</u> <ul style="list-style-type: none"> ・赤星邸の歴史的価値を広く後世に伝承する →そのための収益の確保

班	4 班	
出された意見	視点 1:市民のための場 <ul style="list-style-type: none"> ・周囲には小さな子どもや高齢者が多く住む ・修道女会がなくなってこれまで守られているものがなくなった感覚 ・少数の厳しい環境の子どもを支援、管理がされていて安心して使える場 ・物内の部屋が小さくて変な人が入ってこないか心配、管理する人の常駐が必要 ・大きな厨房を活用して若年層の貧困を助ける 	
	視点 2:歴史・文化の継承 <ul style="list-style-type: none"> ・常設の歴史ギャラリー+収益事業として市民の絵画などを展示 	
	視点 3:自然を守る・育てる <ul style="list-style-type: none"> ・庭を使って一体的に活用 	
	視点 4 観光資源 <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市はアニメ作家が多い 	
	視点 5:持続可能な利活用 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の個店に週替わりでお店、大きな厨房を活用 ・フィルムコミッション 	
利活用検討シート	①晴れの舞台でも使える市民の憩いの場（8）	②ナミュール・ノートルダム修道女会のヨウヘキ、ちょっと困った、を話せるよろず相談室（6）
	<u>ねらい・目指すこと</u> <ul style="list-style-type: none"> ・赤星鉄馬邸の良さを引き出す（空間、広い厨房）、庭と一体的な活用、 ・収益を得る（週替わりカフェ、フィルムコミッション、結婚式、アニメ、ギャラリー） 	<u>ねらい・目指すこと</u> <ul style="list-style-type: none"> ・修道院に守られていたような空気感を継承 ・愛あふれる場所であり続ける、誰かに何かを言いたくなったら来るところ ・ここがかつて修道院であったことを忘れずに

班	5 班	
出された意見	視点1:市民のための場 <ul style="list-style-type: none"> 子どもだけでなくいろいろな立場の人が関われる機会を創出 子どもが走りまわれる場、ただし、ここの芝生や緑が傷むのは避けたい 視点2:歴史・文化の継承 <ul style="list-style-type: none"> 建築の魅力を伝える資料をつくり展示、市民が資料などを SNS などで発信する 視点3:自然を守る・育てる <ul style="list-style-type: none"> 活動のツールとしてのコンサートや音楽会、住宅地なので外で音を出すのは難しい 作り込みすぎない感じが良い、樹木を使って草木染め 成蹊大学の授業の一環として、学生に運営に関わってもらい、活用してもらおう 	
	利活用検討シート	①旧赤星邸を知る(5) ねらい・目指すこと <ul style="list-style-type: none"> 建築好きを引きつける場所 建物の維持 観光ではなくレーモンド建築を知る

班	6 班	
出された意見	視点1:市民のための場 <ul style="list-style-type: none"> 若い人が自主学習したり、静かに過ごせたりする場所 目的をもって集まれる場所 視点2:歴史・文化の継承 <ul style="list-style-type: none"> 赤星邸は唯一無二の存在であることを伝える、それに絡めて武蔵野の周辺の歴史も伝える 視点3:自然を守る・育てる <ul style="list-style-type: none"> 結婚式や披露宴、地域の人が祝福、旧赤星邸に関わる人々が披露宴を一緒に作る、地域への思いが高まる 地域の人が自分たち発表する、コミュニティの中で生きているという体感 騒音問題があるが、屋外でコンサートができると良い 保存樹木はすべて価値があるものなのか疑問、雑木林につくり変える、多様な生き物 視点4 観光資源 <ul style="list-style-type: none"> 「建物の見学」そのものにニーズ、建物の価値を対外的に示していく アニメの要素で持管理費に見合う収益を得る 視点5:持続可能な利活用 <ul style="list-style-type: none"> 市民が取り組める運営要素があるとよい、次世代に伝えることがしたい 	
	利活用検討シート	①レーモンド建築アニメによる聖地化(12) ねらい・目指すこと <ul style="list-style-type: none"> 赤星邸が唯一無二であることを伝える ①レーモンド建築-構造の特徴を伝える(唯一無二の建築遺産) ②庭と建物の関係、バランスを伝える「建物は森の中のキノコ(レーモンド)」 ③周辺の建物(濱家住宅西洋館)もあわせて鑑賞ツアー